グリーン&マシーン
THE GREEN & MACHINE

電動草刈機を納入
都の8施設、実用評価も
ユニック

㈱ユニック（竹内幹夫CEO・東京都杉並区高円寺南4の41の10）はこのほど、ラジコン式電動草刈機「UNIMOWERS（ユニモアーズ）」を東京都産業労働局に8台納入したことを明らかにした。

同機は、令和5年度東京都トライアル発注認定制度で、「新商品等の生産・提供により新たな事業分野の開拓を図る者」の対象商品と認められ、その一環で評価のために導入された。

「モビリティにおける付加価値により、幸せと感動を創出」を経営理念に掲げる同社は、クローラとロボットの技術で社会課題の解決に取り組んでおり、同機は、独自の高接地圧クローラベルトと左右独立サスペンションにより、高い走破性と小回り性を両立したクローラで駆動するラジコン式の電動草刈機。東京都の納入先は、草刈りエリアが広く、施設担当者が斜面対応に苦慮している所、農業のスマート化や生産性向上を研究する施設、教育施設などで、3月末までに納入が完了、それぞれの施設では今後実用評価も行う。

昨年の農業ＷＥＥＫに出展したユニモアーズ

ユニモアーズは、①45度の斜面でも滑り落ちない独自のクローラタイプ草刈機②低重心設計のため急斜面でも安心、かつ危険な斜面を知らせる警告機能を搭載③急勾配の作業や夏場の作業では、離れた場所から安全にリモコンで草刈りが可能④オール電動により排気ガスゼロ&低騒音―などの特徴を有しており、納入説明の際は「草刈機には見えないスタイリッシュなデザインで、草刈りをするのが楽しみ」といった声も。同社は様々な草刈り環境下での評価に基づき、さらなる改良を進めてオール電動草刈機の市場拡大に臨むと今後の展開に期待を寄せている。

問い合わせ先は同社。☎03・5913・8445。

ツムラのハイパーフリー好調
畔、斜面刈りに最適

津村鋼業㈱（津村慎吾社長・兵庫県三木市別所町巴46）が製造する刈払機用のチップソーと刈刃は「角鳩印ブランド」として知られ、農林業の従事者のみならず、草刈りのシーンで一般のユーザーにも好んで使われている。数多ある同社のロングセラー製品に加え、昨今は充電式刈払機に最適なチップソーと三日月刃の「ハイブリッドカッターW型」が好評だ。

一方、チップソーと並び好調な売り上げをみせるのが、同社のモア刃「ハイパーフリーシリーズ」だ。同品は、畦草刈りや斜面刈りのシーンで最高のパフォーマンスをみせ、従来のバーナイフに比べて基盤を挟んだ上下2段刃の構成で、これが鋭い切れ味をみせる。

この切れ味に加え、フリーという名の通り上下の刃が自由に動く。そのため草刈り時に石などの硬質異物に当たっても刃が逃げる。これにより機体本体への衝撃を抑え、機体に負担をかけにくいという特徴がある。

上下2段刃は草を細かく粉砕し、基盤の「草巻き付き防止コブ」により

（ハイパーフリーの場合）

た衝撃を緩和!!